

小林高校の今

普通科三年 石神百合子



「伝統」、それは時の流れを積み重ねた、ずっと続いた重みが感じられる言葉です。きっとこれを守り続けた人々によって込められた熱い思いの現れなのでしょう。そして私達は、歴史と伝統のあるこの小林高校を守り続けていく使命を与えられているのです。

小林高校の名を全国に知らされた駅伝部、女子バスケットボール部の活躍もまた「伝統」と呼ぶにふさわしいものです。

そうした小林高校にも新設置のねらいは、学校の目標に掲げられている「文部省道」のもとに、運動能力に優れた人材を広く募り、育てて、更なる向上を目指していくことにあると聞いています。新しい受け皿のことで新たな一ページ

授業での集中力や充実した休日の過ごし方が私達の学力を大きく左右するようになります。今や豊富な知識以上

になってきました。また、平成八年度から新課程入試と運営して、体育祭や文化祭

も完成しました。体育コー

が実施されるようになり、更にまた今は個性が重んじられ、自主的、主体的

な活動のできる生徒が求められています。

した活動の場と機会を与えられていますのが学校生活

がら、小林高校の新たな伝統の構築に向けて今力強く

歩み出しています。

同期の同窓会について

—「三九会」発足から15年—

千賀子(昭和39年・高16回卒)

私達十六回卒の「三九会」が発足し、もう十五年以上になるでしょうか。最初の頃は開催日もままならないで、毎年二月の第二土曜が新年会、十一月の第二土曜が三九会でした。ですが、近年は、毎年二月の第二土曜が新年会、十一月の第二土曜が三九会でした。東京青梅に始まり、熱海、箱根、秩父と、そして昨年は足利に行って参りました。浅草から二時間足らずで歴史の町足利です。

足利と言えば、平安時代に小野篁によって創設され

たという日本最古の総合大

学「足利学校」、そして「世界に冠たる伊万里と鍋島の殿堂」として有名な栗田美術館等、文字通り文化と歴史の町でした。宿も、渡辺

足利と申します。

足利は、平安時代に小野篁によって創設され

たといわれます。現在は

市上水道の水源として島津藩によつて築かれたもの

です。湧水量は日量七万ド

リとされています。現在は

市上水道の水源として島津藩によつて築かれたもの

です。湧水量は日量七万ド

リとされています。現在は